

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

- 対象年齢： 満**15歳～17歳**の心身共に健康な男女。
- 英語力： 不問
- コース期間： ① 2週間、② 3週間、③ 4週間
 - ターム1・・・ 2月7日(月)～4月15日(金)
 - ターム2・・・ 5月2日(月)～7月15日(金)
 - ターム3・・・ 8月1日(月)～10月7日(金)
 - ターム4・・・10月25日(火)～12月9日(金)※ターム4は授業が殆んど行われぬ為、お勧めできません。
- コース内容： 受け入れ高校にて、パティ生徒の授業や ESOL クラス(留学生用英語補習授業)への参加。
- 宿泊スタイル： 現地学校の手配するホームステイ
- 費用： 別紙をご参照下さい。
- 費用内訳： 入学金、授業料、ホームステイ手配料、ホームステイ代(3食付き)、
手続き費用、往復送迎代、日本/現地日本人サポート(24時間)料が含まれています。

《スケジュール》 ※土曜または日曜到着・帰国でご設定下さい。

日曜	オークランド空港到着 現地日本人のスタッフが空港で出迎えます。 ・オークランド地域の学生は日本人スタッフが送迎いたします。 ・地域外の学校は出迎いのタクシー会社またはホストがお送りします。
月曜～金曜	初日：英語レベル確認テスト、パティ紹介、授業 ESOL 及び、音楽、体育、芸術、数学、地理などの授業を体験 (09:00 頃～15:00 頃)
土日	ホストファミリーと過ごします。
	第2、3、4週目も同様のスケジュール
帰国日	・オークランド地域の場合、現地スタッフが空港までお送りします ・地域外の場合、学校手配のシャトルまたはホストが空港までお送りします。 (シャトルでお越しになる場合は当社スタッフが皆様をお待ちし、チェックインのお手伝いをします。)

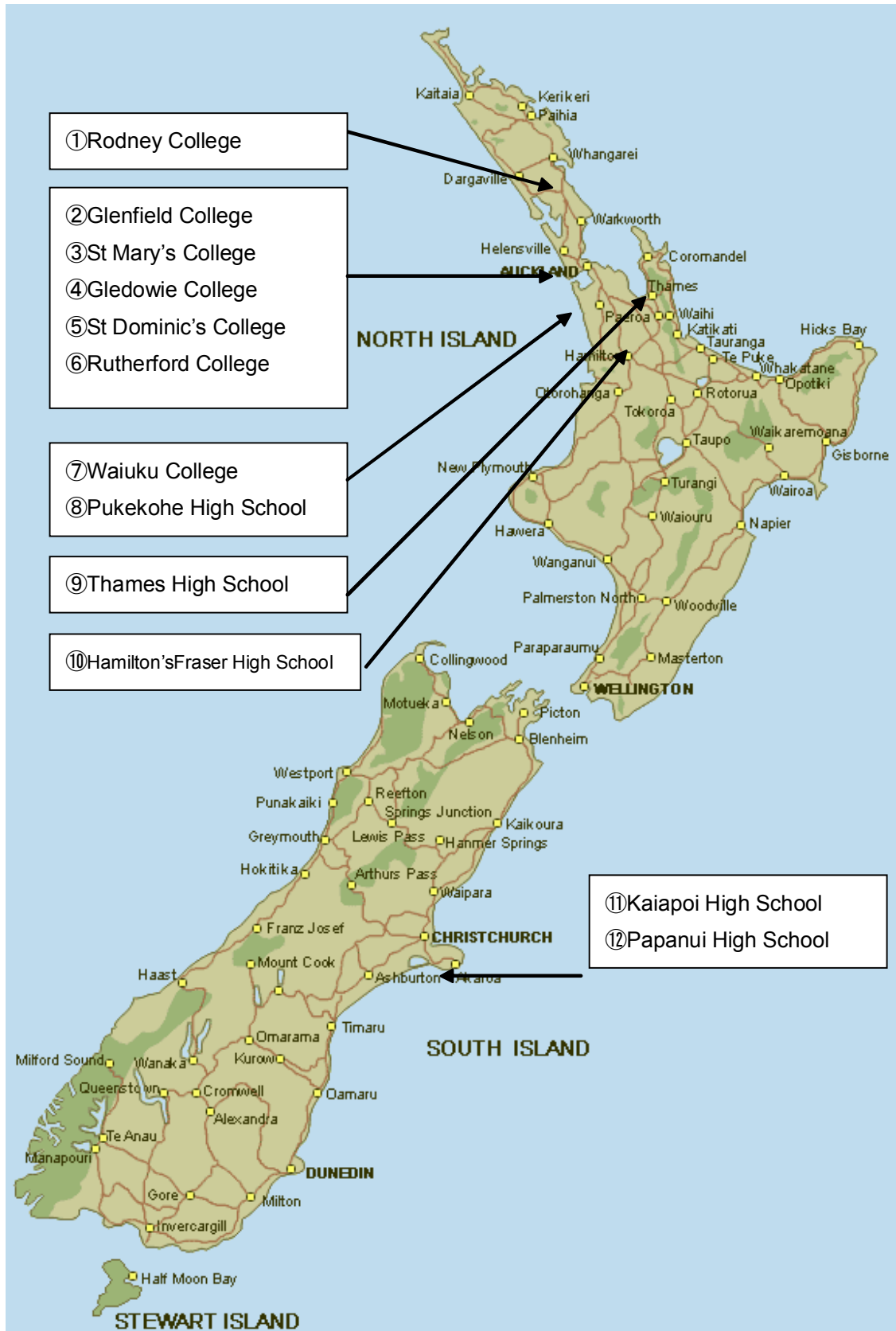
※ 各学校に受け入れ定員がございますので、予約状況によっては学校を変更していただくことがあります。
申し込み前に、必ず可否をお問い合わせください。

～ 日本とニュージーランドの学年早見表 ～

日 本	小学校						中学校			高校			大学					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年		
満年齢	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
N Z	Year													大学				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	ポリテクニク				
	Primary School						Intermediate		Secondary School				専門学校					

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター



2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

<Q&A>

Q:参加対象年齢について詳しく教えてください。

A:ニュージーランドでは高校をセカンダリースクールと呼び、**Year9(13歳)~Year13(17歳)**の学生が学んでいます。学校によっては Year7(11歳)から受けています。日本の高校に在籍される方を参加対象年齢としています。(留年などで19歳になっている場合は、受付できませんのでご注意ください。)

Q:英語を話せなくても大丈夫でしょうか？

A:あくまでも「体験」プログラムですので、英語の成績は問いません。これまで参加された方のアンケートでは、「英語でのコミュニケーションが発前の一歩の不安だった。」と多くの方が書かれていますが、「英語が出来なかったのが楽しなかった。」という声はありません。

Q:学校ではどんな授業を受けるのでしょうか？

A:学校では、「バディ」と言って、滞在中常にサポートしてくれる生徒と一緒に授業を受けます。Year10までは10教科、〈英語、数学、科学、美術、体育、音楽、歴史、地理、社会、第2言語など〉で全員同じ授業を受けますが、Year11以降は6教科選択となり、生徒によって時間割が異なります。上記の教科以外に写真や演劇、料理、木工などの授業を選択している生徒もいます。これらの授業以外には、参加生徒のレベルに応じて、ESOLという「留学生向け英語補習授業」も受講します。授業時間は08:30頃から3時頃までです。

Q:学校での服装は？

A:ニュージーランドの学校は、制服の着用が義務付けられています。このプログラムに参加される方は在籍している学校の制服を持参してください。靴もその制服に準じたものをご用意下さい。制靴がない場合、黒い靴を持参してください。体育はTシャツやトレパンなど動きやすい服装を準備してください。かばんに規定はありませんが、現地学生はリュックサックを利用しています。

Q:ホストファミリーについて教えてください。

A:学校が厳選したファミリーのお宅に滞在していただきます。食事は毎日3食付きで、昼食はランチボックスを用意してもらえます。他の国から来た留学生が滞在している場合もあります。登下校は、徒歩、スクールバス、またはホストファミリーによる送迎です。到着時にホームステイでの心がけについてお知らせします。

Q:現地のサポート体制について教えてください。

A:週に1~2回は学校を訪問し、生徒さんの様子を確認します。電話でもホストファミリーに様子を確認して、生徒さんが楽しく滞在しているかを確認します。また、留学生担当スタッフとも頻りに連絡を取り合い、学校やホームステイでのトラブルや悩み事をすぐに解決できるよう努めています。到着時にはオリエンテーションブックやステイ先、学校周辺の地図を用意します。また帰国に際しての注意事項や出迎え時間なども書面で生徒さんにお渡しします。(クライストチャーチは、提

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

携スタッフが同じサービスを行います。)

① Rodney College (ウェルズフォード)



学校名: Rodney College (ロドニーカレッジ)

Web: <http://ultranet.rodneycollege.school.nz/main.asp>

学校所在地: オークランド郊外 ロドニー地区 オークランド市内から北へ車で約1時間。

学校種別: 公立学校 男女共学 全校生徒約 330 名 **在籍学年 Year9-13 (13歳~17歳)**

留学生: 2009年に日本人が1人。2010年は未定。

特徴: 全校生徒わずか330人のスポーツに熱を入れている小さな学校です。ほとんどの生徒、先生が知りあいというアットホームな環境。留学生は、2009年に日本人が1人だけでしたが、留学生サポートチームもあり、しっかりとケアしてくれます。近隣はファームとビーチで、ニュージーランドらしい田舎暮らしを楽しむことができます。

※ のんびりした田舎の町で、高校体験を希望している方にお勧めです。

② Glenfield College (オークランド)



学校名: Glenfield College (グレンフィールドカレッジ) Web: www.glenfieldcollege.school.nz

学校所在地: オークランド ノースショア グレンフィールド地区 ダウンタウンから車で約30分

学校種別: 公立学校 男女共学 全校生徒約 900 名 **在籍学年 Year9~13(13歳~17歳)**

留学生: 約 50 名 日本人は 5 名。

特徴: 閑静な住宅街にある中規模サイズの共学高校。“常に目標に向かって全力を尽くすこと” “人を敬うこと”がスクールモットー。アカデミックな学校であり、また生徒個々の力を伸ばすカリキュラムもふんだんに取り入れている

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

学校です。

※ 普段から英語を一生懸命やっていて、力試しをしたい生徒さんにお奨めです。

③ St Mary's College (オークランド)



- 学校名: St. Mary's College) Web : <http://www.stmaryak.school.nz/>
- 学校所在地: オークランド市 ポンソンビー地区 市内中心部から車で10分。
- 学校種別: Integrated (半私立・半公立) **女子校** 全校生徒約 800 名 **在籍学年 Year7～13(11歳～17歳)**
- 留学生: 約 15 名
- 特徴: 11歳～17歳までの女子学生が通う、クリスチアンの Integrated school。1861年創立の伝統あるキャンパスは、シティとハーバーを見下ろす高級住宅街に位置しています。毎年行われる全国統一模試で、常にオークランドでトップクラスの成績を上げるアカデミックスクール。オーケストラも有名で、音楽の授業にも力を入れています。

④ Glendowie College (オークランド)



- 学校名: Glendowie College (グレンダーウィーカレッジ)
- Web: <http://www.glendowie-college.school.nz/>
- 学校所在地: オークランド市 Glendowie 地区 中心部から車で約 20 分の住宅街
- 学校種別: 公立高校 男女共学 全校生徒約 1000 名 **在籍学年 Year9-13 (13歳～17歳)**
- 留学生: 約 40 名 日本人は 5 人
- 特徴: シティ中心部から車で約20分。海辺の住宅街にある公立高校。質の高い教育を提供しており、大学への進学率も高い学校。留学生の受け入れ経験は豊富で、世界各国から留学生を受け入れている。留学生専任スタッ

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

フがケアに当たります。

※ パティ生徒がみんなフレンドリー。日本語を学んでいる学生も多くいます。

⑤ St Dominic's College (オークランド)



- 学校名: St.Dominic's College (セント・ドミニクス・カレッジ) Web: www.stdoms.ac.nz
- 学校所在地: オークランド ハンダーソン地区 中心部から車で約30分の住宅街
- 学校種別: Integrated (半私立・半公立) **女子校** 全校生徒約 900 名 **在籍学年 Year7~13(11歳~17歳)**
- 留学生: 約 40 名 日本人は 5 人
- 特徴: 11歳~17歳までの女子学生が通う、クリスチャンの私立女子校。アカデミックな学習を提供するだけでなく、スポーツ、文化にも力を入れている学校です。緑あふれる住宅街にあり、校舎も新しく、設備が整っています。留学生へのサポートも万全です。
- ※ 留学生担当の先生は自分の娘のように生徒さんの面倒を見てくれます。初めての海外1人旅でも安心して滞在できます。

⑥ Rutherford College (オークランド)



- 学校名: Rutherford College (ラザフォードカレッジ) Web: <http://www.rutherford.school.nz>
- 学校所在地: オークランド テアタツ地区 シティ中心部から車で約20分の住宅街
- 学校種別: 公立学校 男女共学 全校生徒約 1200 名 **在籍学年 Year9-13 (13歳~17歳)**
- 留学生: 約70人 日本人は 10 人以下
- 特徴: シティ中心部から高速で約20分。West Auckland の入り口、Te Atatu 半島にある公立高校。ノーベル賞受賞者 Ernest Rutherford 氏の名にちなんで学校名がつけられています。文化、スポーツにも力を入れており、校長先生は元サッカー選手。留学生の受け入れ経験が豊富で、学内には複数の留学生専任スタッフ

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

がいるなど、万全の体制で留学生をサポート。日本の高校とも多数交流を続けています。

※ 英語には自信がなくて、少し引っ込み思案な生徒さんでも、留学生チームがしっかりサポートしてくれます。

⑦ Waiuku College (オークランド)



- 学校名: Waiuku College Web : <http://www.waiuku-college.school.nz/>
- 学校所在地: オークランド郊外 ワイウク地区 空港から車で30分 市内中心部から約50分
- 学校種別: 公立学校 男女共学 全校生徒約 800 名 **在籍学年 Year9~13(13歳~17歳)**
- 留学生: 約 10 名 (日本人は2人)
- 特徴: 「常にベストを尽くそう！」をモットーに、勉強にもスポーツにも力を入れている学校。学生の7割以上が地域のファーム従事者の子供です。雄大な自然に囲まれた美しい学校です。
- ※ 日本人が少ない学校、ニュージーランドらしい田舎の生活を希望する生徒さんにお勧めです。

⑧ Pukekohe High School (オークランド郊外プケコヘ)



- 学校名: Pukekohe High School (プケコヘ・ハイスクール)
- Web : <http://www.pukekohehigh.school.nz/index.htm>
- 学校所在地: オークランド郊外プケコヘ地区 空港から車で 30 分 市内中心部から約 60 分。
- 学校種別: 公立学校 男女共学 全校生徒約 1500 名 在籍学年 **Year9-13(13歳~17歳)**
- 留学生: 約 15 名 日本、アジア諸国、ヨーロッパ、ブラジルなど。
- 特徴: プケコヘはオークランドからわずか1時間ながら、ファーム地帯にある地方都市です。少し足を伸ばせば、

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

牧歌的な景色の広がるプケコハは、ニュージーランドの田舎を体験したい学生さんに人気があります。音楽、アート、スポーツに力を入れています。

※ 田舎を希望している人にお奨めです。スクールバディの家にステイできる確率が高いです。

⑨ Thames High School (オークランド郊外プケコハ)



学校名: Thames High School (テムズハイスクール) Web: www.thames-high.school.nz

学校所在地: テムズ オークランド空港から車で約80分。

学校種別: 公立学校 男女共学 全校生徒約 670 名 在籍学年 **Year9-13(13歳~17歳)**

留学生: 20名 日本人5人

特徴: コロマンデル半島で最も大きなテムズはかつて金鉱の町として繁栄。街の周りはファーム地域。120 年以上の歴史を誇る同校は、スポーツ、音楽、芸術に秀でた学校としても知られています。留学生の受け入れが経験豊富で、毎年ヨーロッパやアジア諸国から学生が訪れます。

※ スポーツが盛んなので、男子にも人気があります。田舎の学校を希望する方にもお奨め。

⑩ Hamilton's Fraser High School (ハミルトン)



学校名: Hamilton's Fraser High School (ハミルトン・フレイザーハイスクール)

Web: <http://www.fraser-high.school.nz/>

学校所在地: ハミルトン オークランド空港から車で約90分。

学校種別: 公立学校 男女共学 Year9-13 全校生徒約 1800 名 在籍学年 **Year9-13(13歳~17歳)**

留学生: 約 30 名 日本人は5人

特徴: ハミルトンで一番の進学率を誇る優秀な学校。スポーツにも力を入れており、80を超えるクラブは全国大会や

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

海外大会にも出場しています。留学生に対してのサポートは専用校舎、専用スタッフを配置し、1人1人丁寧にケアしてくれます。少し足を伸ばせば有名な観光地、ワイトモ鍾乳洞やロトルアにも行けます。

※都会は嫌だけど、田舎過ぎるのも嫌。ちょっと地方も興味あり、という方にもお奨めです。

⑪ Kaiapoi High School (クライストチャーチ)



学校名: Kaiapoi High School (カИАポイ ハイスクール)

Web: <http://www.kaiapoi.school.nz/>

学校所在地: クライストチャーチ郊外カИАポイ地区 市内中心部から車で約20分・バス約30分。

学校種別: 公立学校 男女共学 全校生徒約700名 **在籍学年 Year9-13(13歳~17歳)**

留学生: 約20名 日本人は15名。

特徴: クライストチャーチ郊外にある小さな街カИАポイにある学校です。のびのびとした雰囲気です。ESOL(留学生用の英語)もしっかりしています。

※小規模な学校がご希望の方にお勧めです。

⑫ Papanui High School (クライストチャーチ)



学校名: Papanui High School (パパヌイ ハイスクール)

Web: <http://www.papanui.school.nz/>

学校所在地: クライストチャーチ市 Papanui 地区 市内中心部から車で約10分・バス約15分。

学校種別: 公立学校 男女共学 全校生徒約1600名 **在籍学年 Year9-13(13歳~17歳)**

留学生: 約70名 日本人は約15人

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

特徴: シティ中心部から車で約10分。近くには大きなショッピングセンターもあり、便利な地域に位置しています。中規模～大規模にあたる公立高校。しっかりとした教育を提供する高校です。ESOL(留学生用の英語)も充実し、地元でも評価の高い学校です。留学生の部署(インターナショナル オフィス)もしっかりしており安心です。

<参加者の声>

	<p>参加者: Y.Aさん 年齢: 14歳 中学2年生 体験校: Albany Junior HS 期間: 2週間</p>		<p>参加者: Y.Yさん 年齢: 14歳 中学2年生 体験校: Rutherford Colleg 期間: 2週間</p>
<p>帰国子女なので、日本に帰ってから落ちていた英語力を取り戻すために参加しました。学校は明るい雰囲気、生徒も親しみやすい人ばかりでした。授業は1人1人好きな教科を選択でき、自分の時間割を持っているのが、日本と違いました。パティは絶えず優しく話しかけてくれて、他の生徒とも仲良くなれるようにしてくれました。ホストも本当に親切でした。ステイしているのが私だけでなく、別の国の学生がいたことも適度にお互い気を使わずに済んでよかったと思います。楽しく滞在するコツはいつも笑顔でいることだと思います。週末に10分だけホームシックになったのを除けば、毎日がすごく楽しく、あっという間に滞在期間が終了してしまいました。折角友達になったみんなに会うために、もう一度来たいです。</p>		<p>これからやってくる人へのアドバイス。 ・ネガティブなことは考えない。・最初のうちは適当に話をあわせておく。あるいは自分からとにかく話す。・暇な時に頭の中で英文を組み立てておく練習をする。・とりあえずリアクションは派手に! ・いちいち日本を引き合いに出さない。ここはニュージーランドだ。・何かしら日本の料理を作れるようになっておくとも良いかもしれない。また、最近の日本の歌や音楽も覚えておく、日本語を勉強している生徒に受けます。ファミリーはとても優しくて、いろいろなところに連れて行ってくれました。ホームシックにもならなかったのは、このファミリーだったからだと思います。学校の人たちは知っている日本語で話しかけてきてくれて、面白かったです。皆さん笑顔で接してくれたのが、とても嬉しかったです。</p>	
<p>参加者: M.Eさん 年齢: 16歳 高校1年生 体験校: Waiuku College 期間: 2週間</p>		<p>参加者: A.Kさん 年齢: 16歳 高校2年生 体験校: Pukekohe College 期間: 2週間</p>	
<p>1年間留学するための練習としてやってきて、たった2週間なんか短いと思っていたけど、ホームシックが一番の難関で、飛行機の中から家に帰りたくなくなり、毎日泣いてばかりだった。だけど1週間を過ぎたら急に楽しくなって、毎日があっという間だった。ホームステイは初めての体験だったけどすごく楽しかった。食事口にも合わないものはなくて、いつも私の好みを聞いてくれた。マザーはいつもゆっくり話してくれたり、楽しませてくれたりすごく良い人だった。簡単な手伝いも与えてもらえました。日本でまた頑張っても、もし出来たらまた戻ってきたいな。Miriam先生にも小西さんにもいっぱい助けてもらってありがとうございました。むっちゃ楽しい2週間だった。</p>		<p>出発前の心配は会話能力でした。自分の英語が通じるか不安でした。でも、学校はのんびりした雰囲気、休み時間がたっぷりあったお陰で根を詰めずに学校生活をのびのびと送れました。ホームステイは私で3人目ということもあって、ホストがばっちりサポートしてくれました。辛いと感じることはありませんでした。ホストブラザーが空手をやっていて、最終週に体験参加しました。空手教室を通して友達もできました。この滞在はと一つとも楽しかったです。1年くらいNZにいたかったです。先生たちは親切だし、始めは会話の少なかったパティの友達とも少しずつ話せるようになりました。今度はもっとパワーアップしてNZに来たいと思います!</p>	
	<p>参加者: M.Kさん 年齢: 17歳 高校2年生 体験校: Glendowie College 期間: 2週間</p>		<p>参加者: N.Kさん 年齢: 17歳 高校2年生 体験校: St Domini's 期間: 2週間</p>

2011年 高校生 現地校体験プログラム

留学情報プラザジャパンセンター

学校のこと驚いたこと。①授業ごとに違う教室に行く ②生徒がよく発言する。③鉛筆ではなくボールペンを使う ④授業が終わるとすぐにみんな帰宅する。誰も残ってない。⑤授業ごとの10分休みがない。⑥劇の授業があるのにびっくり。
とても楽しい体験でした。辛いこともあったけど、本当に良い経験になりました。それに、これから日本に帰ってもしっかり勉強しようという意欲も出ました。興味深いマオリの文化にも触れられ貴重な体験をすることが出来ました。今度は家族も連れてきたいです。

“一人にさせて～！”って思うくらい、いつもパディやホストが周りにいて、つまらないと思う瞬間がなかった。まもなく帰国するかと思うと、全然嬉しくない。まだまだずっとここにいたい。だけど私の英語力はまだまだ全然足りなくて、みんなとわいわい話していても、何を話しているか分からなくて、ぼーっと、突っ立てた。たまに、Are you alright?って聞かれた。(笑)
単語力をもっと増やしてから行ったら、もっともっと楽しかったかも知れない。また留学できることを願って日本に帰ったら必死で英語を勉強しよう。テストのためじゃなくて、自分のため。See you later ニューゼaland!